

大学番号 国041

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 研究科の設置
注1

事前伺い

信州大学大学院 教育学研究科 高度教職実践専攻
注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人信州大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 マル ヤマ マサ ヨ代

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学研究科

＜高度教職実践専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学名

信州大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒380-8544
長野県長野市大字西長野6の口

(〒390-8621)
(長野県松本市旭3-1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハマダ クニヒロ) 濱田 州博 (H27.10)		
研究科長	(ミヤザキ ミキオ) 宮崎 樹夫 (H31.4)		
専攻長	(フセギ ヒサシ) 伏木 久始 (H31.4)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学研究科 高度教職実践専攻 (専門職学位課程) 教職修士(専門職)	教育学・保育 学関係	年 2	人 30	年次 人 -	人 60		基礎となる学部等 該当なし

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年 度までの平均入学定 員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	30 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.03倍	-	-							
志願者数	- () []	35 () []	- () []	43 () []	- () []										
受験者数	- () []	34 () []	- () []	40 () []	- () []										
合格者数	- () []	32 () []	- () []	34 () []	- () []										
B 入学者数	- () []	31 () []	- () []	31 () []	- () []										
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.03	-	1.03	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	31	-	31	-	-	-	-
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次	/		-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次	/		/		-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
4年次	/		/		/		-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]			
							(-)	(-)	(-)	(-)			
計	-	-	-	-	-	-	31	-	62	-	-	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	31 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	62 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜教育学研究科 高度教職実践専攻＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	A.教育課程の編成・実施	1通	2			1	2						
	B.教科等の実践的な指導方法	1通	2			5	3						
	C.生徒指導、教育相談	1通	2			1						1	
	D.学級経営、学校経営	1通	2			1	1						1
	E.学校教育と教員の在り方	1通	2			1	3						
		2通	2			2	3						
	小計(6科目)	—	12	0	0	7	6	0	0	0	0	1	
	領域E(領域Dを含む)	1前	1			6	7			1			1
	領域D(領域A,Cを含む)	1後	1			6	7			1			1
	領域B(領域ADを含む)	2前	1			6	7			1			1
領域A(領域B,C,D,Eを含む)	2後	1			6	7			1			1	
小計(4科目)	—	4	0	0	6	7	0	1	0	1			
教職基礎形成コース	教育臨床研究入門	1前	1			5	3					4	
	臨床実践研究とリフレクションⅠ	1前	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅡ	1後	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅢ	2前	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅣ	2後	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅠ(特別支援教育高度化P)	1前	1			1	1			2		1	
	臨床実践研究とリフレクションⅡ(特別支援教育高度化P)	1後	1			1	1			2		1	
	臨床実践研究とリフレクションⅢ(特別支援教育高度化P)	2前	1			1	1			2		1	
	臨床実践研究とリフレクションⅣ(特別支援教育高度化P)	2後	1			1	1			2		1	
	小計(9科目)	—	1	8	0	7	7	0	2	0	5		
高度教職開発コース	メンタリングの理論と実践	2通	1			2	3					1	
	高度実践研究とリフレクションⅠ	1前	1			6	7						
	高度実践研究とリフレクションⅡ	1後	1			6	7						
	高度実践研究とリフレクションⅢ	2前	1			6	7						
	高度実践研究とリフレクションⅣ	2後	1			6	7						
	高度実践研究とリフレクションⅠ(特別支援教育高度化P)	1前	1			1	1			2		1	
	高度実践研究とリフレクションⅡ(特別支援教育高度化P)	1後	1			1	1			2		1	
	高度実践研究とリフレクションⅢ(特別支援教育高度化P)	2前	1			1	1			2		1	
	高度実践研究とリフレクションⅣ(特別支援教育高度化P)	2後	1			1	1			2		1	
	小計(9科目)	—	1	8	0	7	7	0	2	0	1		
選択科目	学校マネジメント	2通	2			2	1						
	校内研究の企画・運営	1前	1			1	4						
	通常学級における特別支援教育	1-2後	1			1	1			1		1	
	へき地・小規模校における教育実践	1-2通	1			1	1					1	
	学校におけるICT活用	1前	1			2						1	
	海外学校臨床実習	1-2通	2			1	1						
	教育課題特別演習Ⅰ	1-2通	1			3							
	教育課題特別演習Ⅱ	1-2通	1			4							
	学校における学習の心理過程	1-2前	1			1						1	
	学校における防災教育	1-2後	1			1				4			
	学校における体験活動	1-2前	2			1						1	
	学校における多文化教育	1-2後	1			1						1	
	持続可能な社会づくりと教育	1-2前	1			1						2	
	学校教育と市民性	1-2後	1			1						2	
	学校における異文化間コミュニケーション教育・多様性対応教育	1-2前	1			1						1	
小計(15科目)	—	0	18	0	4	7	0	1	0	13			
گرام授業力高度化プロ	教科横断教育研究論	1-2前	2			3						26	
	教科横断内容研究基礎	1-2前	1			2						26	
	教育調査方法基礎	1-2前	1			2						19	
	国語科授業内容研究	1-2前	1			1						3	
	国語科教材開発演習	1-2前	1			1						2	
	国語科授業分析演習	1-2後	1			1						2	
	国語科指導案構築演習	1-2後	1			1						2	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	A.教育課程の編成・実施	1通	2			1	2						
	B.教科等の実践的な指導方法	1通	2			5	3						
	C.生徒指導、教育相談	1通	2			1						1	
	D.学級経営、学校経営	1通	2			1	1						1
	E.学校教育と教員の在り方	1通	2			1	4						
		2通	2			2	4						
	小計(6科目)	—	12	0	0	7	6	1	0	0	1		
	領域E(領域Dを含む)	1前	1			6	6	1	0				1
	領域D(領域A,Cを含む)	1後	1			6	6	1	0				1
	領域B(領域ADを含む)	2前	1			6	6	1	0				1
領域A(領域B,C,D,Eを含む)	2後	1			6	6	1	0				1	
小計(4科目)	—	4	0	0	6	6	1	0	0	1			
教職基礎形成コース	教育臨床研究入門	1前	1			5	3					4	
	臨床実践研究とリフレクションⅠ	1前	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅡ	1後	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅢ	2前	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅣ	2後	1			6	6						
	臨床実践研究とリフレクションⅠ(特別支援教育高度化P)	1前	1			1	1			1	2	1	
	臨床実践研究とリフレクションⅡ(特別支援教育高度化P)	1後	1			1	1			1	2	1	
	臨床実践研究とリフレクションⅢ(特別支援教育高度化P)	2前	1			1	1			1	2	1	
	臨床実践研究とリフレクションⅣ(特別支援教育高度化P)	2後	1			1	1			1	2	1	
	小計(9科目)	—	1	8	0	7	7	1	2	0	5		
高度教職開発コース	メンタリングの理論と実践	2通	1			2	3					1	
	高度実践研究とリフレクションⅠ	1前	1			6	6	1					
	高度実践研究とリフレクションⅡ	1後	1			6	6	1					
	高度実践研究とリフレクションⅢ	2前	1			6	6	1					
	高度実践研究とリフレクションⅣ	2後	1			6	6	1					
	高度実践研究とリフレクションⅠ(特別支援教育高度化P)	1前	1			1	1			1	2	1	
	高度実践研究とリフレクションⅡ(特別支援教育高度化P)	1後	1			1	1			1	2	1	
	高度実践研究とリフレクションⅢ(特別支援教育高度化P)	2前	1			1	1			1	2	1	
	高度実践研究とリフレクションⅣ(特別支援教育高度化P)	2後	1			1	1			1	2	1	
	小計(9科目)	—	1	8	0	7	7	2	2	0	1		
選択科目	学校マネジメント	1-2通	2			2	1						
	校内研究の企画・運営	1-2通	1			1	3	1					
	通常学級における特別支援教育	1-2通	1			1	1			0	1	1	
	へき地・小規模校における教育実践	1-2通	1			1	1					1	
	学校におけるICT活用	1-2通	1			2						1	
	海外学校臨床実習	1-2通	2			1	1						
	教育課題特別演習Ⅰ	1-2通	1			3							
	教育課題特別演習Ⅱ	1-2通	1			4							
	学校における学習の心理過程	1-2前	1			1						1	
	学校における防災教育	1-2前	1			1				4			
	学校における体験活動	1-2通	2			1						1	
	学校における多文化教育	1-2後	1			1						1	
	持続可能な社会づくりと教育	1-2後	1			1						2	
	学校教育と市民性	1-2後	1			1						2	
	学校における異文化間コミュニケーション教育・多様性対応教育	1-2前	1			1						1	
小計(15科目)	—	0	18	0	4	6	2	1	0	13			
گرام授業力高度化プロ	教科横断教育研究論	1前	2			3						24	
	教科横断内容研究基礎	1-2前	1			2						26	
	教育調査方法基礎	1-2前	1			2						17	
	国語科授業内容研究	1-2前	1			1						2	
	国語科教材開発演習	1-2前	1			1						1	
	国語科授業分析演習	1-2前	1			1						1	
	国語科指導案構築演習	1-2前	1			1						2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目 教科授業力高度化プログラム	国語科授業方法研究	1・2後	1		1					1	
	社会科授業内容研究	1・2前	1							5	
	社会科教材開発演習	1・2前	1							5	
	社会科授業分析演習	1・2後	1							2	
	社会科指導案構築演習	1・2後	1							2	
	社会科授業方法研究	1・2後	1							7	
	算数・数学科授業内容研究	1・2前	1		1					4	
	算数・数学科教材開発演習	1・2前	1		1					4	
	算数・数学科授業分析演習	1・2後	1		1					4	
	算数・数学科指導案構築演習	1・2後	1		1					4	
	算数・数学科授業方法研究	1・2後	1		1					4	
	理科授業内容研究	1・2前	1		1					6	
	理科教材開発演習	1・2前	1		1					6	
	理科授業分析演習	1・2後	1		1						
	理科指導案構築演習	1・2後	1		1						
	理科授業方法研究	1・2後	1		1						
	音楽科授業内容研究	1・2前	1							6	
	音楽科教材開発演習	1・2前	1							6	
	音楽科授業分析演習	1・2後	1							2	
	音楽科指導案構築演習	1・2後	1							2	
	音楽科授業方法研究	1・2後	1							3	
	図画工作・美術科授業内容研究	1・2前	1							2	
	図画工作・美術科教材開発演習	1・2前	1							2	
	図画工作・美術科授業分析演習	1・2後	1							2	
	図画工作・美術科指導案構築演習	1・2後	1							2	
	図画工作・美術科授業方法研究	1・2後	1							1	
	保健体育科授業内容研究	1・2前	1							2	
	保健体育科教材開発演習	1・2前	1							2	
	保健体育科授業分析演習	1・2後	1							2	
	保健体育科指導案構築演習	1・2後	1							2	
	保健体育科授業方法研究	1・2後	1							6	
	ものづくり授業内容研究	1・2前	1							3	
	ものづくり教材開発演習	1・2前	1							3	
	ものづくり授業分析演習	1・2後	1							1	
	ものづくり指導案構築演習	1・2後	1							1	
	ものづくり授業方法研究	1・2後	1							4	
	家庭科授業内容研究	1・2前	1							4	
	家庭科教材開発演習	1・2前	1							4	
	家庭科授業分析演習	1・2後	1							1	
	家庭科指導案構築演習	1・2後	1							1	
	家庭科授業方法研究	1・2後	1							4	
	英語科授業内容研究	1・2前	1							3	
	英語科教材開発演習	1・2前	1							3	
	英語科授業分析演習	1・2後	1		1					1	
	英語科指導案構築演習	1・2後	1		1					2	
	英語科授業方法研究	1・2後	1		1					1	
健康環境授業内容研究	1・2前	1							7		
芸術鑑賞授業内容研究	1・2前	1							3		
芸術鑑賞教材開発演習	1・2前	1							3		
STEM授業内容研究	1・2前	1		2	1				1		
STEM教材開発演習	1・2後	1		2	1				1		
教科課題特別研究Ⅰ	1通	2		4						45	
教科課題特別研究Ⅱ	2通	2		4						45	
小計(60科目)		—	0	63	0	4	1	0	0	0	49
特別支援教育高度化プログラム	知的障害児の理解と支援	1・2前	2		1						
	肢体不自由児の理解と支援	1・2後	1		1						
	病弱児の理解と支援	1・2後	1		1		1			1	
	発達障害児の理解と支援	1・2前	2					1		1	
	情緒障害・行動問題の理解と支援	1・2後	2					1		1	
	特別なニーズのある子どもの自立活動	1・2前	2		1	1				1	
	特別なニーズのある子どもの教科研究	1・2通	2		1	1	2			1	
	特別支援教育コーディネーターの役割と支援	1・2後	2								1
	通常学級における特別支援教育	1・2後	1			1		1		1	
	特別支援教育教材開発研究	1通	2		1	1	2	1		1	
	特別支援教育課題特別研究Ⅰ	1通	2		1	1	2	1		1	
特別支援教育課題特別研究Ⅱ	2通	2		1	1	2	1		1		
小計(12科目)		—	0	21	0	1	1	0	2	0	1
学校実習	教育実践実地研究Ⅰ	1通	3		7	7					
	教育実践実地研究Ⅰ(特別支援教育高度化P)	1通	3		1	1	2	1			
	教育実践実地研究Ⅱ	2通	7		7	7					
	教育実践実地研究Ⅱ(特別支援教育高度化P)	2通	7		1	1	2	1			
小計(4科目)		—	0	20	0	8	8	0	2	0	1
合計(119科目)		—	18	138	0	8	8	0	2	0	58

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目 教科授業力高度化プログラム	国語科授業方法研究	1・2前	1		1					1		
	社会科授業内容研究	1・2前	1							5		
	社会科教材開発演習	1・2前	1							5		
	社会科授業分析演習	1・2前	1							2		
	社会科指導案構築演習	1・2後	1							2		
	社会科授業方法研究	1・2後	1							7		
	算数・数学科授業内容研究	1・2前	1		1					3		
	算数・数学科教材開発演習	1・2前	1		1					3		
	算数・数学科授業分析演習	1・2通	1		1					3		
	算数・数学科指導案構築演習	1・2前	1		1					3		
	算数・数学科授業方法研究	1・2前	1		1					3		
	理科授業内容研究	1・2前	1		1					6		
	理科教材開発演習	1・2前	1		1					6		
	理科授業分析演習	1・2後	1		1					1		
	理科指導案構築演習	1・2前	1		1					1		
	理科授業方法研究	1・2前	1		1							
	音楽科授業内容研究	1・2前	1							6		
	音楽科教材開発演習	1後	1							6		
	音楽科授業分析演習	1・2後	1							2		
	音楽科指導案構築演習	1前	1							2		
	音楽科授業方法研究	1・2後	1							3		
	図画工作・美術科授業内容研究	1・2前	1							1		
	図画工作・美術科教材開発演習	1・2後	1							1		
	図画工作・美術科授業分析演習	1・2前	1							2		
	図画工作・美術科指導案構築演習	1・2後	1							2		
	図画工作・美術科授業方法研究	1・2後	1							1		
	保健体育科授業内容研究	1・2前	1							2		
	保健体育科教材開発演習	1・2前	1							1		
	保健体育科授業分析演習	1・2後	1							2		
	保健体育科指導案構築演習	1・2後	1							2		
	保健体育科授業方法研究	1・2後	1							5		
	ものづくり授業内容研究	1・2前	1							3		
	ものづくり教材開発演習	1・2後	1							3		
	ものづくり授業分析演習	1・2前	1							1		
	ものづくり指導案構築演習	1・2前	1							1		
	ものづくり授業方法研究	1・2後	1							4		
	家庭科授業内容研究	1後	1							4		
	家庭科教材開発演習	1・2前	1							4		
	家庭科授業分析演習	1・2後	1							1		
	家庭科指導案構築演習	1・2後	1							1		
	家庭科授業方法研究	1・2前	1							4		
	英語科授業内容研究	1・2前	1							3		
	英語科教材開発演習	1・2前	1							3		
	英語科授業分析演習	1・2後	1		1					1		
	英語科指導案構築演習	1・2後	1		1					2		
	英語科授業方法研究	1・2後	1		1					1		
健康環境授業内容研究	1後	1							6			
芸術鑑賞授業内容研究	1・2前	1							2			
芸術鑑賞教材開発演習	1・2後	1							2			
STEM授業内容研究	1・2通	1		2	1				1			
STEM教材開発演習	1・2通	1		2	1				1			
教科課題特別研究Ⅰ	1通	2		4						41		
教科課題特別研究Ⅱ	2通	2		4						41		
小計(60科目)		—	0	63	0	4	1	0	0	0	47	
特別支援教育高度化プログラム	知的障害児の理解と支援	1・2前	2		1				1			
	肢体不自由児の理解と支援	1・2後	1		1							
	病弱児の理解と支援	1・2前	1		1		1		1			
	発達障害児の理解と支援	1・2前	2					1		1		
	情緒障害・行動問題の理解と支援	1・2後	2					1		1		
	特別なニーズのある子どもの自立活動	1・2前	2		1	1			1	1		
	特別なニーズのある子どもの教科研究	1・2通	2		1	1	2		2	1		
	特別支援教育コーディネーターの役割と支援	1・2後	2								1	
	通常学級における特別支援教育	1・2通	1					0	1	1	1	
	特別支援教育教材開発研究	1通	2		1	1	1	1	2	1		
	特別支援教育課題特別研究Ⅰ	1通	2		1	1	2	1		2		
特別支援教育課題特別研究Ⅱ	2通	2		1	1	2	1		2			
小計(12科目)		—	0	21	0	1	1	1	1	2	0	1
学校実習	教育実践実地研究Ⅰ	1通	3		7	7						
	教育実践実地研究Ⅰ(特別支援教育高度化P)	1通	3		1	1	1	2	1			
	教育実践実地研究Ⅱ	2通	7		7	7						
	教育実践実地研究Ⅱ(特別支援教育高度化P)	2通	7		1	1	1	2	1			
小計(4科目)		—	0	20	0	8	8	1	2	0	1	
合計(119科目)		—	18	138	0	8	8	1	2	0	55	

卒業要件及び履修方法

卒業要件は、共通科目16単位、コース科目5単位、選択科目14単位以上、学校実習10単位、計45単位以上修得する。

各科目区分の履修は下記のとおりである。

- ・共通科目は、16単位(必修)修得する。
- ・コース科目はコース別に指定された科目から、必修1単位、選択必修4単位、計5単位修得する。
- ・選択科目は、各自が選択したプログラムの科目から12単位以上を含み、計14単位以上修得する。なお教科授業力高度化プログラムを選択した場合は、特定の教科領域の科目を5単位含んで修得する。
- ・学校実習は、選択したプログラムに応じて10単位修得する。

履修科目の登録上限:40単位(年間)

卒業要件及び履修方法

卒業要件は、共通科目16単位、コース科目5単位、選択科目14単位以上、学校実習10単位、計45単位以上修得する。

各科目区分の履修は下記のとおりである。

- ・共通科目は、16単位(必修)修得する。
- ・コース科目はコース別に指定された科目から、必修1単位、選択必修4単位、計5単位修得する。
- ・選択科目は、各自が選択したプログラムの科目から12単位以上を含み、計14単位以上修得する。なお教科授業力高度化プログラムを選択した場合は、特定の教科領域の科目を5単位含んで修得する。
- ・学校実習は、選択したプログラムに応じて10単位修得する。

履修科目の登録上限:40単位(年間)

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	A:教育課程の編成・実施	特色ある教育課程の編成と評価	1通	2			1	2					
	B:教科等の実践的な指導方法	授業研究と教育評価	1通	2			5	3					
	C:生徒指導、教育相談	特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制	1通	2				1	1				1
	D:学級経営、学校経営	学級づくりと学校づくり	1通	2			1	1					1
	E:学校教育と教員の在り方	未来の学校と期待される教師I	1通	2			1	3					
		未来の学校と期待される教師II	2通	2			2	3					
		小計(6科目)	—	12	0	0	7	6	1	0	0	0	1
	5領域横断(必修)	領域E(領域Dを含む)	状況分析チーム演習	1前	1			6	7	1	1		1
		領域D(領域A,Cを含む)	授業・学級づくりチーム演習	1後	1			6	7	1	1		1
		領域B(領域A,Dを含む)	個に応じた教育チーム演習	2前	1			6	7	1	1		1
		領域A(領域B,C,D,Eを含む)	学校・地域活性化チーム演習	2後	1			6	7	1	1		1
			小計(4科目)	—	4	0	0	6	7	1	1	0	1
	コース科目	教育臨床研究入門		1前	1			5	3				4
		臨床実践研究とリフレクションI		1前	1			6	6				
		臨床実践研究とリフレクションII		1後	1			6	6				
臨床実践研究とリフレクションIII			2前	1			6	6					
臨床実践研究とリフレクションIV			2後	1			6	6					
臨床実践研究とリフレクションI(特別支援教育高度化P)			1前	1		1	1	1	1	2		1	
臨床実践研究とリフレクションII(特別支援教育高度化P)			1後	1		1	1	1	1	2		1	
臨床実践研究とリフレクションIII(特別支援教育高度化P)			2前	1		1	1	1	1	2		1	
臨床実践研究とリフレクションIV(特別支援教育高度化P)			2後	1		1	1	1	1	2		1	
		小計(9科目)	—	1	8	0	7	7	1	2	0	5	
高度教職開発コース		メンタリングの理論と実践	2通	1			2	2				1	
		高度実践研究とリフレクションI	1前	1			6	7					
		高度実践研究とリフレクションII	1後	1			6	7					
		高度実践研究とリフレクションIII	2前	1			6	7					
		高度実践研究とリフレクションIV	2後	1			6	7					
	高度実践研究とリフレクションI(特別支援教育高度化P)	1前	1		1	1	1	1	2		1		
	高度実践研究とリフレクションII(特別支援教育高度化P)	1後	1		1	1	1	1	2		1		
	高度実践研究とリフレクションIII(特別支援教育高度化P)	2前	1		1	1	1	1	2		1		
	高度実践研究とリフレクションIV(特別支援教育高度化P)	2後	1		1	1	1	1	2		1		
	小計(9科目)	—	1	8	0	7	8	1	2	0	1		
選択科目	教育マネジメント	学校マネジメント	1・2通	2		2	1						
	教育課題探究	校内研究の企画・運営	1・2通	1		1	4						
		通常学級における特別支援教育	1・2通	1		1	1	1	1			1	
		へき地・小規模校における教育実践	1・2通	1		1	1	1				1	
	プログラム	学校におけるICT活用	1・2通	1		2						1	
		海外学校臨床実習	1・2通	2		1	1						
		教育課題特別演習I	1・2通	1		3							
		教育課題特別演習II	1・2通	1		4							
		学校における学習の心理過程	1・2前	1								1	
		学校における防災教育	1・2前	1								4	
		学校における体験活動	1・2通	2		1						1	
		学校における多文化教育	1・2後	1								1	
		持続可能な社会づくりと教育	1・2後	1								2	
		学校教育と市民性	1・2後	1								2	
		学校における異文化間コミュニケーション教育・多様性対応教育	1・2前	1								1	
	小計(15科目)	—	0	18	0	4	7	1	1	0	13		
教科授業力高度化プログラム	教科横断教育研究論		1通	2		2	3					26	
	教科横断内容研究基礎		1・2前	1		2						26	
	教育調査方法基礎		1・2前	1		2						19	
	国語科授業内容研究		1・2前	1								2	
	国語科教材開発演習		1・2前	1								1	
	国語科授業分析演習		1・2前	1		1						1	
	国語科指導案構築演習		1・2前	1								2	
	国語科授業方法研究		1・2前	1		1						1	
	社会科授業内容研究		1・2前	1								5	
	社会科教材開発演習		1・2前	1								5	
	社会科授業分析演習		1・2前	1								2	
	社会科指導案構築演習		1・2後	1								2	
	社会科授業方法研究		1・2後	1								7	
	算数・数学科授業内容研究		1・2前	1		1						4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
選択科目	算数・数学科教材開発演習	1-2前	1		1						4	
	算数・数学科授業分析演習	1-2通	1		1						4	
	算数・数学科指導案構築演習	1-2前	1		1						4	
	算数・数学科授業方法研究	1-2前	1		1						4	
	理科授業内容研究	1-2前	1		1						6	
	理科教材開発演習	1-2前	1		1						6	
	理科授業分析演習	1-2後	1		1							
	理科指導案構築演習	1-2後	1		1							
	理科授業方法研究	1-2後	1		1							
	音楽科授業内容研究	1-2前	1		1						6	
	音楽科教材開発演習	1後	1		1						6	
	音楽科授業分析演習	1-2前	1		1						2	
	音楽科指導案構築演習	1-2後	1		1						2	
	音楽科授業方法研究	1-2後	1		1						3	
	図画工作・美術科授業内容研究	1-2前	1		1						2	
	図画工作・美術科教材開発演習	1-2後	1		1						2	
	図画工作・美術科授業分析演習	1-2前	1		1						2	
	図画工作・美術科指導案構築演習	1-2後	1		1						2	
	図画工作・美術科授業方法研究	1-2後	1		1						1	
	保健体育科授業内容研究	1-2前	1		1						2	
	保健体育科教材開発演習	1-2前	1		1						2	
	保健体育科授業分析演習	1-2後	1		1						2	
	保健体育科指導案構築演習	1-2後	1		1						2	
	保健体育科授業方法研究	1-2後	1		1						6	
	ものづくり授業内容研究	1-2前	1		1						3	
	ものづくり教材開発演習	1-2後	1		1						3	
	ものづくり授業分析演習	1-2前	1		1						1	
	ものづくり指導案構築演習	1-2前	1		1						1	
	ものづくり授業方法研究	1-2後	1		1						4	
	家庭科授業内容研究	1後	1		1						4	
	家庭科教材開発演習	1-2前	1		1						4	
	家庭科授業分析演習	1-2後	1		1						1	
	家庭科指導案構築演習	1-2後	1		1						1	
	家庭科授業方法研究	1-2後	1		1						4	
	英語科授業内容研究	1-2前	1		1						3	
	英語科教材開発演習	1-2前	1		1						3	
	英語科授業分析演習	1-2後	1		1						1	
	英語科指導案構築演習	1-2後	1		1						2	
	英語科授業方法研究	1-2後	1		1						1	
	健康環境授業内容研究	1後	1		1						7	
	芸術鑑賞授業内容研究	1-2前	1		1						2	
	芸術鑑賞教材開発演習	1-2後	1		1						2	
	STEM授業内容研究	1-2通	1		2	1					1	
	STEM教材開発演習	1-2通	1		2	1					1	
	教科課題特別研究 I	1通	2		4						44	
	教科課題特別研究 II	2通	2		4						44	
	小計(60科目)	—	0	63	0	4	1	0	0	0	48	
	特別支援教育高度化プログラム	知的障害児の理解と支援	1-2前	2		1		1				
		肢体不自由児の理解と支援	1-2後	1			1					
		病弱児の理解と支援	1-2通	1			1		1			
		発達障害児の理解と支援	1-2前	2						1		
		情緒障害・行動問題の理解と支援	1-2後	2						1		
		特別なニーズのある子どもの自立活動	1-2前	2		1	1			1		
		特別なニーズのある子どもの教科研究	1-2通	2		1	1		2			1
		特別支援教育コーディネーターの役割と支援	1-2後	2								1
		通常学級における特別支援教育	1-2通	1			1		1	1		1
		特別支援教育教材開発研究	1通	2		1	1		1	2		1
		特別支援教育課題特別研究 I	1通	2		1	1		2			1
		特別支援教育課題特別研究 II	2通	2		1	1		2			1
	小計(12科目)	—	0	21	0	1	1	1	2	0	1	
学校実習	教育実践実地研究 I	1通	3		7	7						
	教育実践実地研究 I (特別支援教育高度化P)	1通	3		1	1		1	2		1	
	教育実践実地研究 II	2通	7		7	7						
	教育実践実地研究 II (特別支援教育高度化P)	2通	7		1	1		1	2		1	
	小計(4科目)	—	0	20	0	8	8	1	2	0	1	
合計(119科目)		—	18	138	0	8	8	1	2	0	67	
卒業要件及び履修方法												
卒業要件は、共通科目16単位、コース科目5単位、選択科目14単位以上、学校実習10単位、計45単位以上修得する。												
各科目区分の履修は下記のとおりである。												
・共通科目は、16単位(必修)修得する。												
・コース科目はコース別に指定された科目から、必修1単位、選択必修4単位、計5単位修得する。												
・選択科目は、各自が選択したプログラムの科目から12単位以上を含み、計14単位以上修得する。なお教科授業力高度化プログラムを選択した場合は、特定の教科領域の科目を5単位含んで修得する。												
・学校実習は、選択したプログラムに応じて10単位修得する。												
履修科目の登録上限:40単位(年間)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

教員配置の見直しにより、「特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制」他26科目の専任教員等配置を変更。
 時間割の見直しにより、「学校マネジメント」他28科目の開講期を変更。

【令和3年度】

教員配置の見直しにより、「授業研究と教育評価」他14科目の専任教員等配置を変更。
 時間割の見直しにより、「教科横断教育研究論」他6科目の開講期を変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	107 科目	0 科目	119 科目	12 科目 [0]	107 科目 [0]	0 科目 [0]	119 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{119} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	539,738㎡	0㎡	0㎡	539,738㎡				
	運動場用地	208,855㎡	0㎡	0㎡	208,855㎡				
	小 計	748,593㎡	0㎡	0㎡	748,593㎡				
	そ の 他	5,692,777㎡	0㎡	0㎡	5,692,777㎡				
	合 計	6,441,370㎡	0㎡	0㎡	6,441,370㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		436,193㎡ (436,193㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	436,193㎡ (436,193㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	26 室	27 室	70 室	1 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	教育学研究科 高度教職実践専攻			17 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部等単位での特定不能なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕						〔うち外国書〕
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	教育学研究科高度教職実践専攻	1,228,649 [358,047] 1,233,325 [359,778]	41,341 [22,422] 40,792 [21,672]	14,745 [13,283] 13,961 [12,536]	4,391 4,329	67,827 66,079	147,477		
	計	1,228,649 [358,047] 1,233,325 [359,778]	41,341 [22,422] 40,792 [21,672]	14,745 [13,283] 13,961 [12,536]	4,391 4,329	67,827 66,079	147,477		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	13,304㎡	1,636席 1,639席		977,782冊		大学全体			
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	8,085㎡	プ ー ル, 武 道 場 ・ 弓 道 場, テ ニ ス コ ー ト				大学全体			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学						学生募集停止学科数	21	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部											
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	—	—	平成7	同上	平成25年学生募集停止
人文学科	4	155	3年次5	630	学士(文学)	1.01	1.01	—	平成25	同上	
教育学部											
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	平成11	長野県長野市大字西長野6の口	平成28年学生募集停止
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.02	1.03	—	平成11	同上	
経済学部											
経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	昭和53	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年学生募集停止
経済システム法学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	平成7	同上	平成28年学生募集停止
経法学部											
応用経済学科	4	100	2年次10	430	学士(経済学)	1.05	1.04	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	2年次10	350	学士(法学)	1.03	1.01	—	平成28	同上	
理学部											
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
地質科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
生物科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	—	—	平成7	同上	平成27年学生募集停止
数学科	4	54	3年次1	218	学士(理学)	1.02	1.01	—	平成27	同上	
理学科	4	151	3年次3	610	学士(理学)	1.01	1.00	—	平成27	同上	
医学部											
医学科	6	120	—	720	学士(理学)	1.00	1.00	—	昭和26	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次17	606	学士(理学)	1.01	1.01	—	平成15	同上	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	学士(理学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	
検査技術学専攻	4	37	3年次3	154	学士(理学)	1.00	1.00	—	平成15	同上	

理学療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (理学)	1.06	1.05	—	平成15	同上	
作業療法学専攻	4	18	3年次 2	76	学士 (理学)	1.06	1.05	—	平成15	同上	
工学部											
機械システム工 学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	長野県長野市若 里4丁目17番1号	平成28年学生募 集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年学生募 集停止
土木工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年学生募 集停止
情報工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成元	同上	平成28年学生募 集停止
環境機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成10	同上	平成28年学生募 集停止
物質化学科	4	95	3年次 4	388	学士 (工学)	1.02	1.03	—	平成28	同上	
電子情報システ ム工学科	4	170	3年次 7	694	学士 (工学)	1.01	1.00	—	平成28	同上	
水環境・土木工 学科	4	60	3年次 3	246	学士 (工学)	1.01	1.03	—	平成28	同上	
機械システム工 学科	4	100	3年次 4	408	学士 (工学)	1.02	1.02	—	平成28	同上	
建築学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.02	1.03	—	平成28	同上	
農学部											
農学生命科学科	4	170	3年次 6	692	学士 (農学)	1.02	1.03	—	平成27	長野県上伊那郡 南箕輪村8304	
繊維学部											
先進繊維工学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	長野県上田市常 田3丁目15番1号	平成28年学生募 集停止
機能機械学課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
バイオエンジニ アリング課程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
材料化学工学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
機能高分子学課 程	4	—	—	—	学士 (工学)	—	—	—	平成20	同上	平成28年学生募 集停止
先進繊維・感性 工学科	4	65	3年次 2	264	学士 (工学)	1.03	1.01	—	平成28	同上	
機械・ロボット 学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.07	1.01	—	平成28	同上	
化学・材料学科	4	105	3年次 4	428	学士 (工学)	1.06	1.04	—	平成28	同上	
応用生物科学科	4	50	3年次 2	204	学士 (農学)	1.06	1.08	—	平成28	同上	
大学全体	4	1,978	3年次 124 2年次 60	8,336	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	信州大学大学院					学生募集停止学科数	13	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
総合人文社会科学研究所	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合人文社会科学専攻	2	36	—	72	修士 (文学) 修士 (心理学) 修士 (経済学) 修士 (法学)	0.83	0.86	—	令和2	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市大字西長野6の口	
人文科学研究科											
言語文化専攻	2	—	—	—	修士 (文学)	—	—	—	昭和57	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年学生募集停止
教育学研究科											
学校教育専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	—	—	平成3	長野県長野市大字西長野6の口	令和2年学生募集停止
高度教職実践専攻	2	30	—	60	教職修士 (専門職)	1.03	1.03	—	令和2	同上	
経済・社会政策科学研究科											
経済・社会政策科学専攻	2	—	—	—	修士 (経済学)	—	—	—	平成元	長野県松本市旭3丁目1番1号	令和2年学生募集停止
イノベーション・マネジメント専攻	2	—	—	—	修士 (マネジメント)	—	—	—	平成15	長野県長野市若里4丁目17番1号	令和2年学生募集停止
総合理工学研究科											
理学専攻	2	75	—	150	修士 (理学)	0.90	0.80	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240	—	480	修士 (工学)	1.19	1.22	—	平成28	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160	—	320	修士 (工学) 修士 (農学)	1.09	1.10	—	平成28	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65	—	130	修士 (農学)	1.10	1.06	—	平成28	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35	—	70	修士 (医工学)	1.27	1.37	—	平成28	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
医学系研究科											
医学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成15	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成24年学生募集停止
医学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年学生募集停止
疾患予防医科学系専攻(博士課程)	4	—	—	—	博士 (医学)	—	—	—	平成24	同上	平成30年学生募集停止

保健学専攻（博士 後期課程）	3	—	—	—	博士 (保健学)	—	—	—	平成21	同上	平成30年学生募 集停止
医科学専攻	2	12	—	24	修士 (医科学)	0.78	0.91	—	平成14	同上	
保健学専攻	2	14	—	28	修士 (看護学) 修士 (保健学)	1.28	1.28	—	平成19	同上	
総合工学系研究科											
生命機能・ファイ バー工学専攻	3	—	—	—	博士 (学術)	—	—	—	平成17	長野県松本市旭 3丁目1番1号	平成30年学生募 集停止
システム開発工学 専攻	3	—	—	—	博士 (理学)	—	—	—	平成17	長野県長野市若 里4丁目17番1号	平成30年学生募 集停止
物質創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	—	—	平成17	長野県上田市常 田3丁目15番1号	平成30年学生募 集停止
山岳地域環境科学 専攻	3	—	—	—	博士 (農学)	—	—	—	平成17	長野県上伊那郡 南箕輪村8304	平成30年学生募 集停止
生物・食料科学専 攻	3	—	—	—		—	—	—	平成17		平成30年学生募 集停止
総合医理工学研究科											
医学系専攻	4, 3	48	—	186	博士 (医学) 博士 (保健学)	0.95	0.91	—	平成30	長野県松本市旭 3丁目1番1号	
総合理工学専攻	3	38	—	114	博士 (学術) 博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (農学)	1.00	0.73	—	平成30	長野県松本市旭 3丁目1番1号 長野県長野市若 里4丁目17番1号 長野県上田市常 田3丁目15番1号 長野県上伊那郡 南箕輪村8304	
生命医工学専攻	4, 3	15	—	55	博士 (医学) 博士 (医工学)	1.15	1.26	—	平成30	同上	
大学院全体	2, 3, 4	768	—	1,689	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 高度教職実践専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三崎 隆 <令和2年4月> 博士(学校教育学)
		授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 理科授業分析演習 理科指導案構築演習 理科授業方法研究 STEM授業内容研究 STEM教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
専	教授	伏木 久始 <令和2年4月> 博士(教育学)
		特色ある教育課程の編成と評価 未来の学校と期待される教師Ⅱ 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ メンタリングの理論と実践 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ へき地・小規模校における教育実践 海外学校臨床実習 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三崎 隆 <令和2年4月> 博士(学校教育学)
		授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 理科授業分析演習 理科指導案構築演習 理科授業方法研究 STEM授業内容研究 STEM教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
専	教授	伏木 久始 <令和2年4月> 博士(教育学)
		特色ある教育課程の編成と評価 未来の学校と期待される教師Ⅱ 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ メンタリングの理論と実践 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ へき地・小規模校における教育実践 海外学校臨床実習 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三崎 隆 <令和2年4月> 博士(学校教育学)
		授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 理科授業分析演習 理科指導案構築演習 理科授業方法研究 STEM授業内容研究 STEM教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
専	教授	伏木 久始 <令和2年4月> 博士(教育学)
		特色ある教育課程の編成と評価 未来の学校と期待される教師Ⅱ 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ メンタリングの理論と実践 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ へき地・小規模校における教育実践 海外学校臨床実習 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	奥村 真衣子 <令和2年4月> 修士(障害科学)
		状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 通常学級における特別支援教育 病弱児の理解と支援 情緒障害・行動問題の理解と支援 特別なニーズのある子どもの教科研究 特別支援教育教材開発研究 特別支援教育課題特別研究Ⅰ 特別支援教育課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
専他	教授	西 一夫 <令和2年4月> 博士(文学)
		授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 学校マネジメント 教科横断内容研究基礎 国語科授業分析演習 国語科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	奥村 真衣子 <令和2年4月> 修士(障害科学)
		状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 通常学級における特別支援教育 病弱児の理解と支援 情緒障害・行動問題の理解と支援 特別なニーズのある子どもの教科研究 特別支援教育教材開発研究 特別支援教育課題特別研究Ⅰ 特別支援教育課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
専他	教授	西 一夫 <令和2年4月> 博士(文学)
		授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 学校マネジメント 教科横断内容研究基礎 国語科授業分析演習 国語科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	奥村 真衣子 <令和2年4月> 修士(障害科学)
		状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 通常学級における特別支援教育 病弱児の理解と支援 情緒障害・行動問題の理解と支援 特別なニーズのある子どもの教科研究 特別支援教育教材開発研究 特別支援教育課題特別研究Ⅰ 特別支援教育課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
専他	教授	西 一夫 <令和2年4月> 博士(文学)
		授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 学校マネジメント 教科横断内容研究基礎 国語科授業分析演習 国語科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実み	教授	柳澤 厚志 <令和2年4月> 学士(理学) 未来の学校と期待される教師Ⅰ 未来の学校と期待される教師Ⅱ 学校マネジメント 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
実み	准教授	笠原 大弘 <令和2年4月> 教職修士(専門職) 授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 校内研究の企画・運営 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		原 洋平 <令和2年4月> 学士(健康学) 特別な教育的ニーズのある子どもの 支援体制 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 知的障害児の理解と支援 通常学級における特別支援教育 特別支援教育教材開発研究 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
実み	教授	柳澤 厚志 <令和2年4月> 学士(理学) 未来の学校と期待される教師Ⅰ 未来の学校と期待される教師Ⅱ 学校マネジメント 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
実み	准教授	笠原 大弘 <令和2年4月> 教職修士(専門職) 授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 校内研究の企画・運営 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		原 洋平 <令和2年4月> 学士(健康学) 特別な教育的ニーズのある子どもの 支援体制 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究とリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 知的障害児の理解と支援 通常学級における特別支援教育 特別支援教育教材開発研究 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
実み	教授	柳澤 厚志 <令和2年4月> 学士(理学) 未来の学校と期待される教師Ⅰ 未来の学校と期待される教師Ⅱ 学校マネジメント 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
実専	准教授	笠原 大弘 <令和3年4月> 教職修士(専門職) 特色ある教育課程の編成と評価 授業研究と教育評価 未来の学校と期待される教師Ⅰ 未来の学校と期待される教師Ⅱ 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 教育臨床研究入門 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ メンタリングの理論と実践 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 校内研究の企画・運営 教育課題特別演習Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 比出代 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		国語科授業内容研究 国語科教材開発演習 国語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	関 良徳 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		教科横断内容研究基礎 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	廣内 大助 ＜令和2年4月＞ 博士(地理学)
		学校における防災教育 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	松本 康 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		教育調査方法基礎 社会科授業分析演習 社会科指導案構築演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	宮崎 樹夫 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 算数・数学科授業内容研究 算数・数学科教材開発演習 算数・数学科授業分析演習 算数・数学科指導案構築演習 算数・数学科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 比出代 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		国語科授業内容研究 国語科教材開発演習 国語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	関 良徳 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		教科横断内容研究基礎 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	廣内 大助 ＜令和2年4月＞ 博士(地理学)
		学校における防災教育 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	松本 康 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		教育調査方法基礎 社会科授業分析演習 社会科指導案構築演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	宮崎 樹夫 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 算数・数学科授業内容研究 算数・数学科教材開発演習 算数・数学科授業分析演習 算数・数学科指導案構築演習 算数・数学科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		戸塚 拓也 ＜令和3年4月＞ 教職修士(専門職)
実み	講師	特色ある教育課程の編成と評価 授業研究と教育評価 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究とリフレクションⅠ 臨床実践研究とリフレクションⅡ 臨床実践研究とリフレクションⅢ 臨床実践研究とリフレクションⅣ 高度実践研究とリフレクションⅠ 高度実践研究とリフレクションⅡ 高度実践研究とリフレクションⅢ 高度実践研究とリフレクションⅣ 教育実践実地研究Ⅰ 教育実践実地研究Ⅱ
兼任	教授	小林 比出代 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		国語科授業内容研究 国語科教材開発演習 国語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	関 良徳 ＜令和2年4月＞ 博士(法学)
		教科横断内容研究基礎 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	廣内 大助 ＜令和2年4月＞ 博士(地理学)
		学校における防災教育 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	松本 康 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		教育調査方法基礎 社会科授業分析演習 社会科指導案構築演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	宮崎 樹夫 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 算数・数学科授業内容研究 算数・数学科教材開発演習 算数・数学科授業分析演習 算数・数学科指導案構築演習 算数・数学科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	天谷 健一 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	佐藤 運海 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		教科横断内容研究基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり教材開発演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	西 正明 ＜令和2年4月＞ 博士(情報科学)
		教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 ものづくり教材開発演習 ものづくり指導案構築演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	村松 浩幸 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学)
		教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり授業分析演習 ものづくり授業方法研究 STEM授業内容研究 STEM教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	高崎 禎子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 健康環境授業内容研究
兼任	教授	三野 たまき ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	山岸 明浩 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	天谷 健一 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	佐藤 運海 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		教科横断内容研究基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり教材開発演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	西 正明 ＜令和2年4月＞ 博士(情報科学)
		教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 ものづくり教材開発演習 ものづくり指導案構築演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	村松 浩幸 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学)
		教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり授業分析演習 ものづくり授業方法研究 STEM授業内容研究 STEM教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	高崎 禎子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 健康環境授業内容研究
兼任	教授	三野 たまき ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	山岸 明浩 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	天谷 健一 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	佐藤 運海 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		教科横断内容研究基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり教材開発演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	
兼任	教授	村松 浩幸 ＜令和2年4月＞ 博士(学校教育学)
		教科横断教育研究論 教育調査方法基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり授業分析演習 ものづくり授業方法研究 STEM授業内容研究 STEM教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	高崎 禎子 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 健康環境授業内容研究
兼任	教授	三野 たまき ＜令和2年4月＞ 博士(学術)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	山岸 明浩 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 忠彦 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業方法研究 音楽科授業分析演習 音楽科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	中島 卓郎 ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	岡田 匡史 ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		図画工作・美術科授業分析演習 図画工作・美術科指導案構築演習 図画工作・美術科授業方法研究
兼任	教授	間島 秀徳 ＜令和2年4月＞ 修士(芸術学)
		図画工作・美術科授業内容研究 図画工作・美術科教材開発演習
兼任	教授	岩田 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学)
		教科横断教育研究論 保健体育科授業分析演習 保健体育科指導案構築演習 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	寺沢 宏次 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		保健体育科教材開発演習 保健体育科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	越智 康詞 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教育臨床研究入門 学校教育と市民性
兼任	教授	徳井 厚子 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		教育調査方法基礎 学校における多文化教育 国語科授業内容研究 国語科授業分析演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 忠彦 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業方法研究 音楽科授業分析演習 音楽科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	中島 卓郎 ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	岡田 匡史 ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		図画工作・美術科授業分析演習 図画工作・美術科指導案構築演習 図画工作・美術科授業方法研究
兼任	教授	間島 秀徳 ＜令和2年4月＞ 修士(芸術学)
		図画工作・美術科授業内容研究 図画工作・美術科教材開発演習
兼任	教授	岩田 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学)
		教科横断教育研究論 保健体育科授業分析演習 保健体育科指導案構築演習 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	寺沢 宏次 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		保健体育科教材開発演習 保健体育科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	越智 康詞 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教育臨床研究入門 学校教育と市民性
兼任	教授	徳井 厚子 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		教育調査方法基礎 学校における多文化教育 国語科授業内容研究 国語科授業分析演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 忠彦 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業方法研究 音楽科授業分析演習 音楽科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	中島 卓郎 ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	岡田 匡史 ＜令和2年4月＞ 芸術学修士
		図画工作・美術科授業分析演習 図画工作・美術科指導案構築演習 図画工作・美術科授業方法研究
兼任	教授	間島 秀徳 ＜令和2年4月＞ 修士(芸術学)
		図画工作・美術科授業内容研究 図画工作・美術科教材開発演習
兼任	教授	岩田 靖 ＜令和2年4月＞ 博士(体育科学)
		教科横断教育研究論 保健体育科授業分析演習 保健体育科指導案構築演習 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	寺沢 宏次 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		保健体育科教材開発演習 保健体育科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	教授	越智 康詞 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教育臨床研究入門 学校教育と市民性
兼任	教授	徳井 厚子 ＜令和2年4月＞ 文学修士
		教育調査方法基礎 学校における多文化教育 国語科授業内容研究 国語科授業分析演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上村 恵津子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制 学級づくりと学校づくり 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究トリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) メンタリングの理論と実践 高度実践研究トリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 通常学級における特別支援教育 特別なニーズのある子どもの教科研究 特別支援教育コーディネーターの役割と支援 特別支援教育教材開発研究 特別支援教育課題特別研究Ⅰ 特別支援教育課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
		島田 英昭 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		学校における学習の心理過程 学校における防災教育
		金子 史彦 ＜令和2年4月＞ LITERATURE AND CRITICISM, PHD (米国)
教科横断内容研究基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ		
兼任	准教授	田中 江扶 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		教科横断内容研究基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	友田 義行 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		国語科授業内容研究 国語科教材開発演習 国語科授業分析演習 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上村 恵津子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制 学級づくりと学校づくり 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究トリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) メンタリングの理論と実践 高度実践研究トリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 通常学級における特別支援教育 特別なニーズのある子どもの教科研究 特別支援教育コーディネーターの役割と支援 特別支援教育教材開発研究 特別支援教育課題特別研究Ⅰ 特別支援教育課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
		島田 英昭 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		学校における学習の心理過程 学校における防災教育
		金子 史彦 ＜令和2年4月＞ LITERATURE AND CRITICISM, PHD (米国)
教科横断内容研究基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ		
兼任	准教授	田中 江扶 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		教科横断内容研究基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	友田 義行 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		国語科授業内容研究 国語科教材開発演習 国語科授業分析演習 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上村 恵津子 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制 学級づくりと学校づくり 状況分析チーム演習 授業・学級づくりチーム演習 個に応じた教育チーム演習 学校・地域活性化チーム演習 臨床実践研究トリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 臨床実践研究トリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) メンタリングの理論と実践 高度実践研究トリフレクションⅠ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅡ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅢ (特別支援教育高度化P) 高度実践研究トリフレクションⅣ (特別支援教育高度化P) 通常学級における特別支援教育 特別なニーズのある子どもの教科研究 特別支援教育コーディネーターの役割と支援 特別支援教育教材開発研究 特別支援教育課題特別研究Ⅰ 特別支援教育課題特別研究Ⅱ 教育実践実地研究Ⅰ (特別支援教育高度化P) 教育実践実地研究Ⅱ (特別支援教育高度化P)
		島田 英昭 ＜令和2年4月＞ 博士(心理学)
		学校における学習の心理過程 学校における防災教育
		金子 史彦 ＜令和2年4月＞ LITERATURE AND CRITICISM, PHD (米国)
教科横断内容研究基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ		
兼任	准教授	田中 江扶 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
		教科横断内容研究基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	友田 義行 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
		国語科授業内容研究 国語科教材開発演習 国語科授業分析演習 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	神原 浩 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	坂口 雅彦 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	竹下 欣宏 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		学校における防災教育 教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	川久保 英樹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		教科横断内容研究基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり教材開発演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	福田 典子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 家庭科授業分析演習 家庭科指導案構築演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	小野 貴史 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	田島 達也 ＜令和2年4月＞ 修士(音楽)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	神原 浩 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	坂口 雅彦 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	竹下 欣宏 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		学校における防災教育 教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	川久保 英樹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		教科横断内容研究基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり教材開発演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	福田 典子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 家庭科授業分析演習 家庭科指導案構築演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	小野 貴史 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	田島 達也 ＜令和2年4月＞ 修士(音楽)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	神原 浩 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	坂口 雅彦 ＜令和2年4月＞ 理学博士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	竹下 欣宏 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		学校における防災教育 教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 理科授業内容研究 理科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	川久保 英樹 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		教科横断内容研究基礎 ものづくり授業内容研究 ものづくり教材開発演習 ものづくり授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	福田 典子 ＜令和2年4月＞ 教育学修士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 家庭科授業分析演習 家庭科指導案構築演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	小野 貴史 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	田島 達也 ＜令和2年4月＞ 修士(音楽)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉田 治人 ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	桐原 礼 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業分析演習 音楽科指導案構築演習 音楽科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	小野 文子 ＜令和2年4月＞ Philosophiae Doctorem (英国)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 図画工作・美術科授業内容研究 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	友川 幸 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		保健体育科教材開発演習 保健体育科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	藤田 育郎 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)
		教科横断教育研究論 保健体育科授業分析演習 保健体育科指導案構築演習 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	渡辺 敏明 ＜令和2年4月＞ 体育学修士
		教科横断内容研究基礎 保健体育科授業内容研究 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	安達 仁美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教育臨床研究入門 持続可能な社会づくりと教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉田 治人 ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	桐原 礼 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業分析演習 音楽科指導案構築演習 音楽科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	小野 文子 ＜令和2年4月＞ Philosophiae Doctorem (英国)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 図画工作・美術科授業内容研究 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	友川 幸 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		保健体育科教材開発演習 保健体育科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	藤田 育郎 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)
		教科横断教育研究論 保健体育科授業分析演習 保健体育科指導案構築演習 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	渡辺 敏明 ＜令和2年4月＞ 体育学修士
		教科横断内容研究基礎 保健体育科授業内容研究 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	安達 仁美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教育臨床研究入門 持続可能な社会づくりと教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉田 治人 ＜令和2年4月＞ 芸術学士
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	桐原 礼 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 音楽科授業内容研究 音楽科教材開発演習 音楽科授業分析演習 音楽科指導案構築演習 音楽科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	小野 文子 ＜令和2年4月＞ Philosophiae Doctorem (英国)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 図画工作・美術科授業内容研究 芸術鑑賞授業内容研究 芸術鑑賞教材開発演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	友川 幸 ＜令和2年4月＞ 博士(保健学)
		保健体育科教材開発演習 保健体育科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	藤田 育郎 ＜令和2年4月＞ 修士(体育学)
		教科横断教育研究論 保健体育科授業分析演習 保健体育科指導案構築演習 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	渡辺 敏明 ＜令和2年4月＞ 体育学修士
		教科横断内容研究基礎 保健体育科授業内容研究 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	准教授	安達 仁美 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
		教育臨床研究入門 持続可能な社会づくりと教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小池 浩子 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 学校における異文化間コミュニケーション教育・多様性対応教育
		高柳 充利 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 教育臨床研究入門 学校教育と市民性
兼任	准教授	茅野 理恵 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 学校における防災教育
		森下 孟 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 教育臨床研究入門 へき地・小規模校における教育実践 学校におけるICT活用
兼任	講師	瀧 直也 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 学校における体験活動 教育調査方法基礎 保健体育科授業内容研究 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
		青山 拓実 ＜令和2年4月＞ MA in English Language Teaching (英国) 教育調査方法基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科授業分析演習 英語科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	木村 容子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
		志村 佳名子 ＜令和2年4月＞ 博士(史学) 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小池 浩子 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 学校における異文化間コミュニケーション教育・多様性対応教育
		高柳 充利 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 教育臨床研究入門 学校教育と市民性
兼任	准教授	茅野 理恵 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 学校における防災教育
		森下 孟 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 教育臨床研究入門 へき地・小規模校における教育実践 学校におけるICT活用
兼任	講師	瀧 直也 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 学校における体験活動 教育調査方法基礎 保健体育科授業内容研究 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
		青山 拓実 ＜令和2年4月＞ MA in English Language Teaching (英国) 教育調査方法基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科授業分析演習 英語科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	木村 容子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
		志村 佳名子 ＜令和2年4月＞ 博士(史学) 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小池 浩子 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 学校における異文化間コミュニケーション教育・多様性対応教育
		高柳 充利 ＜令和2年4月＞ 修士(文学) 教育臨床研究入門 学校教育と市民性
兼任	准教授	茅野 理恵 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 学校における防災教育
		森下 孟 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 教育臨床研究入門 へき地・小規模校における教育実践 学校におけるICT活用
兼任	講師	瀧 直也 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学) 学校における体験活動 教育調査方法基礎 保健体育科授業内容研究 保健体育科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
		青山 拓実 ＜令和2年4月＞ MA in English Language Teaching (英国) 教育調査方法基礎 英語科授業内容研究 英語科教材開発演習 英語科授業分析演習 英語科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	木村 容子 ＜令和2年4月＞ 博士(文学) 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
		志村 佳名子 ＜令和2年4月＞ 博士(史学) 社会科授業内容研究 社会科教材開発演習 社会科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	松澤 泰道 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 算数・数学科授業内容研究 算数・数学科教材開発演習 算数・数学科授業分析演習 算数・数学科指導案構築演習 算数・数学科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	鄭 暁静 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	大島 賢一 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 図画工作・美術科教材開発演習 図画工作・美術科授業分析演習 図画工作・美術科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	水谷 瑞希 ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		持続可能な社会づくりと教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松澤 泰道 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 算数・数学科授業内容研究 算数・数学科教材開発演習 算数・数学科授業分析演習 算数・数学科指導案構築演習 算数・数学科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	鄭 暁静 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	大島 賢一 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 図画工作・美術科教材開発演習 図画工作・美術科授業分析演習 図画工作・美術科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	水谷 瑞希 ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		持続可能な社会づくりと教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	松澤 泰道 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 算数・数学科授業内容研究 算数・数学科教材開発演習 算数・数学科授業分析演習 算数・数学科指導案構築演習 算数・数学科授業方法研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	小倉 光明 ＜令和3年4月＞ 修士(教育学)
		ものづくり教材開発演習 ものづくり指導案構築演習 ものづくり授業方法研究
兼任	助教	鄭 暁静 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 家庭科授業内容研究 家庭科教材開発演習 家庭科授業方法研究 健康環境授業内容研究 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	大島 賢一 ＜令和2年4月＞ 博士(教育学)
		教科横断教育研究論 教科横断内容研究基礎 教育調査方法基礎 図画工作・美術科教材開発演習 図画工作・美術科授業分析演習 図画工作・美術科指導案構築演習 教科課題特別研究Ⅰ 教科課題特別研究Ⅱ
兼任	助教	水谷 瑞希 ＜令和2年4月＞ 博士(農学)
		持続可能な社会づくりと教育

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

教員採用、昇格、退職等に伴い、「特別な教育的ニーズのある子どもの支援体制」他26科目を変更。

【令和3年度】

教員採用、昇格、退職等に伴い、「授業研究と教育評価」他14科目の専任教員等配置を変更。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数
13 名	7 名	6 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【教職大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
8	8	0	2	18	0	8	8	2	1	19	0
(8)	(9)	(1)	(1)	(19)	(0)						
研究者教員数			講義のみ担当の教員数			研究者教員数			講義のみ担当の教員数		
12			6			12			7		
(12)			(7)			(12)			(7)		
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
8	8	2	1	19	0	8	8	2	1	19	0
[]	[]	[2]	[]	[1]	[]	[]	[]	[2]	[Δ1]	[1]	[]
研究者教員数			講義のみ担当の教員数			研究者教員数			講義のみ担当の教員数		
12			7			12			7		
[]			[1]			[]			[1]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{19}{18} = \boxed{105.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	市川 公明	R2.3	必修	特色ある教育課程の編成と評価	①	長野県教育委員会へ転出のため就任辞退（02）		
				必修	授業研究と教育評価	①			
				必修	状況分析チーム演習	①			
				必修	授業・学級づくりチーム演習	①			
				必修	個に応じた教育チーム演習	①			
				必修	学校・地域活性化チーム演習	①			
				必修	教育臨床研究入門	①			
				選択	臨床実践研究とリフレクションⅠ	①			
				選択	臨床実践研究とリフレクションⅡ	①			
				選択	臨床実践研究とリフレクションⅢ	①			
				選択	臨床実践研究とリフレクションⅣ	①			
				必修	メンタリングの理論と実践	①			
				選択	高度実践研究とリフレクションⅠ	①			
				選択	高度実践研究とリフレクションⅡ	①			
				選択	高度実践研究とリフレクションⅢ	①			
				選択	高度実践研究とリフレクションⅣ	①			
				選択	校内研究の企画・運営	①			
選択	通常学級における特別支援教育	①							
選択	教育実践実地研究Ⅰ	①							
選択	教育実践実地研究Ⅱ	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	鎌倉 大和	R3.3	必修	特色ある教育課程の編成と評価	①	長野県教育委員会へ転出のため辞任 (03)						
				必修	未来の学校と期待される教師 I	①							
				必修	未来の学校と期待される教師 II	①							
				必修	状況分析チーム演習	①							
				必修	授業・学級づくりチーム演習	①							
				必修	個に応じた教育チーム演習	①							
				必修	学校・地域活性化チーム演習	①							
				必修	教育臨床研究入門	①							
				選択	臨床実践研究とリフレクション I	①							
				選択	臨床実践研究とリフレクション II	①							
				選択	臨床実践研究とリフレクション III	①							
				選択	臨床実践研究とリフレクション IV	①							
				必修	メンタリングの理論と実践	①							
				選択	高度実践研究とリフレクション I	①							
				選択	高度実践研究とリフレクション II	①							
				選択	高度実践研究とリフレクション III	①							
				選択	高度実践研究とリフレクション IV	①							
				選択	校内研究の企画・運営	①							
選択	教育課題特別演習 II	①											
選択	教育実践実地研究 I	①											
選択	教育実践実地研究 II	①											
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	17 科目	必修	17 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	24 科目	選択	24 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	41 科目	計	41 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{18} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退した専任教員は、実務家教員である。実務家教員については長野県教育委員会との覚書に基づく交流人事であり、後任の専任教員も長野県教育委員会から配属された実務家教員が着任しており、引き続き授業担当するため学生の履修等への影響はない。(02)
 辞任した専任教員は、実務家教員である。実務家教員については長野県教育委員会との覚書に基づく交流人事であり、後任の専任教員も長野県教育委員会から配属された実務家教員が着任しており、引き続き授業担当するため学生の履修等への影響はない。(03)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学研究科 高度教職実践専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	令和2年度に実施された、大学機関別認証評価訪問調査において、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に学習成果の評価の方針が明確かつ具体的に明示されていないとの指摘を受け、評価方法を追記した。（別紙資料参照）

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 高度教職実践専攻会議設置・・・関係規程等はなし</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月1回水曜日開催，構成員：設置時の研究者教員および実務家教員</p> <p>c 委員会の審議事項等 専攻に係る人事，予算，カリキュラム等の事項を審議するとともに，FD研修を実施する。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①学生の学修状況に関する情報共有と教育の最新情報の共有 ②授業方法等についての学習会（FD研修会） ③他の教職大学院開催のフォーラム等への参加・情報収集</p> <p>b 実施方法 高度教職実践専攻会議内および不定期開催の教職大学院FD研修会にて実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>①については4月の定例会議において実施，構成員全員が参加。毎月実施する計画である。 ②および③については計画中である。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 オンライン授業の運営及び方法に関してスキルアップが図られた。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 4月中に学生相談担当教員によるオンラインでの面談を実施した。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 専攻会議で概要を報告するとともに必要な事項に関して学生ヘフィードバックを行った。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

教員養成連携協議会を設置

委員名簿別添

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

年1回（新型コロナウイルスの状況によるが、令和3年度は令和3年10月頃を予定）

c 委員会の審議事項等

設置基準第6条の2第3項に定める事項について審議

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

開催前のため該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

開催前のため該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

開催前のため該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【実施体制】

本学の点検評価については、国立大学法人信州大学組織に関する規則に基づき点検評価委員会を置き、全学的な対応を行っている。

点検評価委員会は、教育、研究、社会貢献及び国際交流活動並びに本法人の組織及び運営その他大学運営全般に対する自己点検・評価、機関別認証評価、国立大学法人評価及び外部評価に関する業務を行うことを任務とする。同委員会は、点検評価担当副学長を委員長として、各部署の点検評価関係委員会の委員長や、本学の教学関連の施策実施に係る研究開発を行う高等教育研究センターのセンター教員等をメンバーとし、全学的な連携の下、教育研究から管理運営等に渡る多様な項目、基準・観点等に対応できる体制を構築している。

【実施方法等】

本学では、令和元年度に外部評価を含む自己点検評価を行い、令和2年度に機関別認証評価を受審し、大学評価基準に適合していることが認定されている。

また、第3期中期目標達成のために年度ごとの進捗状況を全学的に確認するとともに、各部署の取組について、法人本部によるヒアリングや評価、それに基づく予算配分を行うことで部局運営の高度化を図っている。毎年度、部局では部局事業計画を作成し、中間評価報告、最終成果報告を作成する。中間評価報告時には学長、理事等によるヒアリング評価を実施している。

【結果の活用・公表】

本学は、平成25年度に機関別認証評価を受審しており、評価結果において「改善を要する点」として指摘を受けた、入学生員の適正な管理等に向け、改善に取り組み、令和2年度の評価では全て基準を満たすとの結果となった。

また、国立大学法人評価の評価結果についても、分析を行い、課題として指摘を受けた事項等については、役員会等で共有を図り、改善に取り組んでいる。

自己点検評価、認証評価及び国立大学法人評価に係る報告書及び評価結果については、本学ウェブサイトにおいて公表している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年12月 公表予定

b 公表方法

- ・大学全体において自己点検・評価を行い、大学ホームページ上に公表する。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和2年度に（独）大学改革支援・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準に適合していることが認定された。
- ・教職大学院認証評価については、令和5年度までに受審予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【信州大学大学院】教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)改正案

1. 信州大学大学院は、専門性の一層の向上を図り幅広い学識を涵養するため、コースワークを充実させ、コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な教育を行います。また、各研究科の「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等がカリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、シラバスで「学位授与の方針」で定められた知識・能力等との対応を示し、それら諸能力等を修得するプロセスを履修プロセス概念図で示します。
2. 信州大学大学院は、学生個々人の主体的で活発な勉学意欲を促進する立場から、授業時間外の多様な学修研究機会を通じ、諸課題に積極的に挑戦させます。
3. 信州大学大学院は、成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、**学位授与の方針に基づき**各科目に掲げられた授業の狙い・目標に向けた到達度をめやすとして採点します。
【評価方法】
 - ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。
4. 信州大学大学院は、修士課程及び博士課程の学位論文審査体制を充実させ、厳格な審査を行います。

【教育学研究科】教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）改正案

教職を広い視野から捉え直し、自身の教育体験や指導経験を相対化しつつ、未来を担う児童生徒を指導していく高度な実践的指導力の養成を目的として、学部教育において積み上げてきた「臨床の知」をさらに磨き上げていく指導理念のもとに、以下の科目群を配置して実践的なカリキュラムを編成し、**学位授与の方針に基づいて設定した**それぞれの到達目標に即して評価を行います。

- 教職に関する高度な理論と実践をつなぐための共通科目群
- 教育現場での実践的探究をチームでの演習を通して深める共通科目群
- 個人の課題を追究し省察力を高めるコース科目群
- 個人の課題意識に応じて高度な実践的指導力を高める選択科目群
- 学校実習科目群

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定します。
- ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定します。

教育課程連携協議会構成員名簿

< 信州大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 >

構成員区分	氏名	所属及び役職名
教職員	宮崎 樹夫	信州大学教育学部 学部長 信州大学大学院教育学研究科 研究科長
教職員	村松 浩幸	信州大学教育学部 副学部長
教職員	伏木 久始	信州大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 専攻長
教職員	茅野 公穂	信州大学教育学部附属長野小学校 校長 信州大学教育学部附属長野中学校 校長 信州大学教育学部附属特別支援学校 校長
教職員	宮下 昭夫	信州大学教育学部附属松本小学校 校長 信州大学教育学部附属松本中学校 校長 信州大学教育学部附属松本幼稚園 園長
地域	原山 隆一	長野県教育委員会 教育長
地域	丸山 陽一	長野市教育委員会 教育長
地域	伊佐治 裕子	松本市教育委員会 教育長
職業	志川 真一	長野県小学校長会 会長
職業	山口 真一	長野県中学校長会 会長
職業	片桐 義章	長野県特別支援学校長会 会長
職業	塩野 英雄	長野県高等学校長会 会長
地域	熊谷 弘	長野県PTA連合会 会長
職業	武田 育夫	公益社団法人信濃教育会 会長